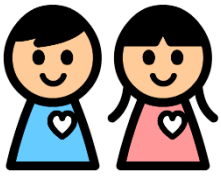


教育支援部ニュース

名古屋特別支援学校 教育支援部 発行　令和５年度　第１号　R5. 6

教育支援部では、年間３回の教育支援部ニュースを発行します。
◎特別支援教育コーディネーターによる巡回相談、発達障害児等支援・指導検討会などの活動報告
◎教育支援部主催の研修会の様子
◎支援に役立つ教具・書籍の紹介
などを伝えていく予定です。
第１号では、教育支援部の行っている活動について紹介します。

令和５年度教育支援部の活動

地域支援

相談（巡回相談、発達支援・指導検討会、電話やメール、来校で教員向け相談）

見学会（就学前施設対象に行う学校見学会）

教員向け研修会（「見てみよう！特別支援学校」「発達障害の理解と対応」を本校で実施）
※今年度は８／４（金）に実施。

中村区自立支援連絡協議会、高校の特別支援教育コーディネーター会等の活動

校内支援

見学会（本校職員を対象に就学前施設の見学会）

巡回相談、発達障害児等支援・指導検討会の活動報告、支援教具や書籍の貸出・提供

教育支援部の活動紹介（教育支援部ニュースの発行：年間３回）

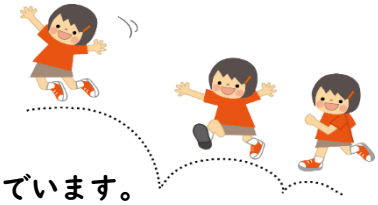
巡回相談、発達障害児等支援・指導検討

特別支援教育コーディネーターは、幼稚園・小学校・中学校に在籍する個別の支援を必要とする子どもたちに対して、巡回相談活動や支援・指導検討会を行っています。今年度は北名古屋市を中心に、清須市や春日井市などの学校を訪問します。巡回相談３校、発達支援指導検討会１４校の活動を予定しています。

地域の学校において個別の支援を必要とする子どもたちは、支援学級に在籍している場合もあれば、通常の学級に在籍している場合もあります。例えば、支援学級であれば、少人数でより細やかな支援を受けて成長することができますし、通常の学級であれば、多くの友達と関わり合いながら成長することができます。それぞれの学校生活の特長を生かしながら、どのような支援をしていけば、子どもたちの困り感を軽減することができるのか。そのことを地域の学校の先生と一緒に考えていきます。

令和５年５月８日、新型コロナウイル感染症が５類に引き下げられました。学校生活での制限が減っていき、子どもたちの日常にも変化があるかと思います。それによって、コロナ禍とは違った過ごしにくさや不安を感じる子どもたちがいるかもしれません。

相談内容は様々で、集団活動になかなか入れない、音読や計算など特定の活動に困難さがある、卒業後の進路を視野に入れて生活面で必要な支援を整理したいなどが挙げられます。各校の状況や取組を参考に、具体的な支援や個への対応提言、障害特性や当事者困り感の紹介など、当該校（園）の支援・指導の一助となれるように相談活動に取り組んでいます。



特別支援教育相談

肢体不自由に限らず、障害のある幼児、児童、生徒の学習面や日常生活への支援について相談に応じています。

担　当：教育支援部（澤田 晶）

連絡先：052-502-8866／shienbu@nagoya-sh.aichi-c.ed.jp

いつでもご相談ください。